

# 第一号議案

## 2022 年度事業報告書（案）

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日迄）

### 1 はじめに

国民の健康維持増進を目的に、わが国におけるサウナ及びスパ営業者の資質の向上、サウナ及びスパに関する正しい知識の普及、営業施設の衛生水準の向上をめざし、健全なサウナ及びスパ事業の育成に努め、もって環境衛生の向上に寄与することを目的に、次の事業について都道府県サウナ・スパ協会と連携協力し公益目的事業を実施しました。

### 2（公益目的事業 1）啓発普及事業

#### ア 調査研究事業

・第 18 回国際サウナ会議(ドイツ)に日本代表団として 15 名が参加、サウナイキタイ鈴木有氏が講演、各国の代表団との交流やサウナ施設の視察等を行いました。

なお、第 15 回東アジアスパ会議は新型コロナウイルス感染症の影響にて中止となりました。

・サウナ・スパ施設の利用状況について、2021 年 9 月～2022 年 10 月までの入館数、総売上、ボディケア等の前年対比データを収集、分析を行い、コロナ禍でのサウナ・スパ事業の動向を調査しました。

・アウフグース WM 2022' 世界大会(オランダ)への日本代表を決める日本予選を開催、64名が参加エントリー、上位8名を世界大会へ派遣しました。

・ウィスキングの受講システム構築のためロシア講師による指導者養成のための講習会を開催しました。

#### イ 機関紙頒布事業

唯一の業界紙である機関紙「SAUNA・SPA」の定期発刊(奇数月)を行い、サウナ・スパ関連施設における新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインの遵守をはじめ、サウナ・スパの正しい知識、安全で正しい利用法等を掲載し、サウナ及びスパ施設の利用を通じて国民の健康に寄与すると共に、温浴業界の最新情報や協会活動について紹介しました。

#### ウ インターネットによる情報提供事業

公式ホームページ並びにフェイスブック(フォロワー数 3, 590 名)、ツイッター(フォロワー数 5, 734 名)を通じ、事業活動等のリアルな情報発信を行うと共に、サウナやスパの身体への効果、正しい知識の普及及び加盟店や賛助企業の紹介等の情報を提供しました。

#### エ メディア対応事業

テレビや新聞、雑誌等マスコミからの問い合わせに対し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策やサウナ・

スパの効果及び調査・研究に関する情報開示、飲酒をしてのサウナ浴の禁止など事故防止について告知するなどマスメディアを通じて広く国民に正しく理解してもらうための広報活動を行いました。

#### ※以下主な媒体を掲載

##### <テレビ媒体>

TBS テレビ 報道番組「Nスタ」/TBS テレビ「情報 7days ニュースキャスター」/日本テレビ「ニノさん」/  
NHK「いいいじゅー！！」/株式会社フジテレビジョン「ネプリーグ」/TBS テレビ「週刊さんまとマツコ」/  
TSK山陰中央テレビ「TSK ニュースイット」/関西テレビ「セブンルール」/BSS 山陰放送「ととのう山陰 ～サウナでととのう、ヒトとマチ～」/日本海テレビ「ニュース every 日本海」/新潟テレビ21「まるどりっ！UP」/  
読売テレビ かんさい情報ネット ten.「おでかけコンシェルジュ」/ABEMA TV

##### <ラジオ媒体>

TBS ラジオ「パンサー向井の#ふらっと」

##### <ウェブメディア>

ほぼ日刊イトイ新聞「Hobo と Sauna」/

BRAVO MOUNTAIN(双葉社が運営するWEB サイト)ご当地サウナ委員会

##### <YouTube 媒体>

「マグ万平ののちほどサウナで」

##### <紙媒体>

日刊スポーツ新聞社(朝刊、ウェブ)/月刊サウナ その他

#### オ その他

##### (1)普及啓発

- ア. 3月7日サウナの日のイベントとして、協賛の加盟店で「満37歳+お連れ様ご招待キャンペーン」を実施、ポスター等で告知を行い、51店舗の協賛店で合計2,239名を招待しました。  
また、サウナの日記念タオル4,284枚を制作、配布しました。
- イ. 国内でのサウナ・スパ関連展示会《スパジャパン展示会(9月)、レジャー&サービス産業展(11月)、国際ホテルレストランショー展示会(2月)》を後援し周知しました。なお、スパジャパン展示会においては、協会ブースにて、養成研修公式資格の案内、サウナ関連書籍等の展示を行いました。
- ウ. アウフグースWM記念グッズのTシャツ1,216枚、タオル115枚を制作配布し大会の告知をしました。
- エ. フィンランドヴィレッジ(長野県小海町)での「日本サウナ祭り」並びに、「フィンランドの夏祭り in こうみ」は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

## (2)社会貢献

日本赤十字社の協力を得て、3月7日サウナの日<sup>①</sup>に全国献血推進キャンペーンを実施、会員はじめ、従業員やお客様に献血の協力をお願いしました。なお、愛知、岐阜、長崎、宮崎の各地区では積極的に街頭での献血呼びかけを行いました。

また、加盟店フロントでは年間を通じて日赤募金箱を設置し、国際サウナ協会〔Sauna Aid〕のウクライナ避難民に対するサウナ支援の募金活動を継続実施しました。(※1万ユーロを寄付)

### 3 (公益目的事業 2) 基準策定研修事業

#### ア 基準策定事業

- (1) 自主管理基準である「サウナ・スパ営業施設における衛生確保に関する自主管理基準」並びに「サウナ設備設置基準」の周知徹底による環境衛生の向上に努めました。
- (2) 内閣府並びに厚生労働省からの通知を共有すると共に、サウナ・スパ関連施設における新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインを改訂し、ホームページにて周知しました。また、レジオネラ属菌及びノロウイルスなど感染症等の対策について機関紙を通じ周知しました。
- (3) サウナ営業施設の衛生水準の向上を目的とした(株)日本政策金融公庫融資制度「サウナ営業設備資金貸付(2億円以内)」の周知を行いました。「融資実績 7件 54,840,000円」

#### イ 優良店認定事業 (※優良店の申請なし)

#### ウ 養成研修・資格登録事業

- (1) サウナ・スパプロフェッショナル(管理士)養成研修講座 (サウナの身体への影響、サウナ及びスパ施設の管理術、サウナ快適環境、経営知識等を学び、サウナ利用を専門的に指導できる者を養成する)を開講、**1,100名**が受講し個人会員として登録しました。(※累計登録者 **3,181名**)
- (2) サウナ・スパ健康士養成研修講座を開講、**8名**が受講しました。
- (3) サウナ・スパ健康アドバイザー養成研修講座(サウナ・スパの正しい知識の普及、健康維持増進のため)を開講、**11,600名**が受講し個人会員として登録しました。(※累計登録者 **33,965名**)

以上三種の養成研修講座には厚生労働省への後援名義を申請し実施しました。なお、協賛**41店舗**にて健康アドバイザー資格証カード提示による入浴料金割引を行い普及啓発に努めました。

#### エ 研修事業

- (1) 全国オーナー・幹部研修会を神戸で開催、講師に和温療法学会理事長鄭忠和氏より、「サウナの医学的効果と可能性」について、並びに(株)サウナイキタイ鈴木有氏より「サウナイキタイデータから見るファンに愛されるサウナ施設」について、神戸サウナ&スパ津村浩彦氏より「新設のフィンランドケロサウナの魅力」

について研修を行い、体験視察を行いました。

(2) 地域における勉強会・セミナー並びにサウナ普及啓発イベントに広く参加を呼びかけ、その活動の奨励及び支援を行いました。

(3) 会員相互の連帯感と従業員の資質向上を目的とした視察研修のための社員研修用共通入浴券を配布し有効活用を図りました。

#### **オ 顕彰事業**（※該当者なし）

#### **カ 相談事業**

健全なサウナ・スパ事業の発展と育成のため、営業に必要な法的許可、衛生管理基準、消防基準等について相談を受付、会員のみならず非会員、各地域の消防局、設計施工者等からの相談に対し電話で対応しました。

#### **4 会員拡充**

サウナ及びスパの普及により国民の健康維持増進等を目的に、公益活動を社会的に広める為組織の根幹である会員加盟の促進を、協力団体の地区協会と協力し、取り組むとともに基盤の整備に務めました。

#### **5 その他**

会計については健全財政の確立と公益法人会計業務の適正化に努めました。

以上